

# Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony バージョン 14 データシート

---

# Contents

製品概要	3
サポートされる機能	7
ルータプラットフォームのサポート	7
IP 電話 サポート	8
ライセンス	8
シスコの環境維持への取り組み	9
Cisco Capital	9
要約	9
詳細情報	10
マニュアルの変更履歴	11

## 製品概要

### ブランチオフィスやクラウドテレフォニーへの信頼性の高い通信を提供

企業が IP テレフォニーの導入をセントラルサイトから遠隔地のブランチオフィスへと拡大していく中で、導入を成功させるための重要な要素は、これらの遠隔地での呼制御のバックアップをサポートする能力です。Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST) と Cisco Unified Enhanced Survivable Remote Site Telephony (Unified E-SRST) は、遠隔地のブランチオフィスにおける冗長な呼制御をサポートするコスト効率の高いソリューションです。Cisco Unified SRST と Unified E-SRST は、Cisco Unified Communications Manager (UCM) および Cisco Business Edition のソリューションをサポートしています。Cisco Unified SRST ではまた、信頼性の高いクラウド通信も提供しており、Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS) と Cisco Unified Communications Manager Cloud (UCMC) が提供する Cisco Powered クラウド コラボレーション サービスもサポートしています。

### 中央集中型のコール処理アーキテクチャの利点

Cisco Unified SRST または Unified E-SRST は、組織のすべてのサイトにテレフォニー サービスを提供する Cisco Unified Communications Manager クラスタがセントラルサイトに配置された、集中型コール処理アーキテクチャにおける重要なコンポーネントとなっています。このアーキテクチャは、管理の一元化や簡素化など、企業に多くのメリットをもたらします。

コール処理を集中管理するアーキテクチャの利点には以下が挙げられます。

- 遠隔地への一連のすべての機能の提供、機能の充実したコンタクトセンター、ユニファイド メッセージング サービス、組み込み型ディレクトリサービス、モビリティ
- 中央集中型の構成と管理
- メンテナンスやトラブルシューティングの簡素化
- 音声およびデータの統合ネットワーク
- 導入コストの削減

中央集中型のコール処理アーキテクチャには、WAN の停止などにより中央集中型コール処理サービスへのアクセスが中断された場合に、遠隔地のブランチオフィスのテレフォニーサービスを耐障害性についての戦略を含める必要があります。遠隔地でのコール処理の冗長性は、緊急時にはとりわけ重要です（これが WAN 停止の実際の原因となる可能性があります）。

### 中央集中型のコール処理アーキテクチャのコンポーネント

Cisco Unified Communications Manager または Cisco Business Edition は、Cisco IOS Software に組み込まれている Cisco Unified SRST または Unified E-SRST と組み合わせることで、遠隔地への高可用性 IP テレフォニーの提供を支援します。遠隔地の拠点からの Cisco Unified Communications Manager へのアクセスが失われた場合（WAN リンクの障害など）、Cisco Unified SRST または Unified E-SRST ではテレフォニー バックアップ サービスを提供し、遠隔地の拠点での継続的なテレフォニーサービスの確保を支援しています。

---

信頼性の向上により、Cisco Unified Communications は、本社であるか遠隔地であるかを問わず、組織内のすべてのユーザのテレフォニー運用を保証するためのコスト効率の高いソリューションとなっています。

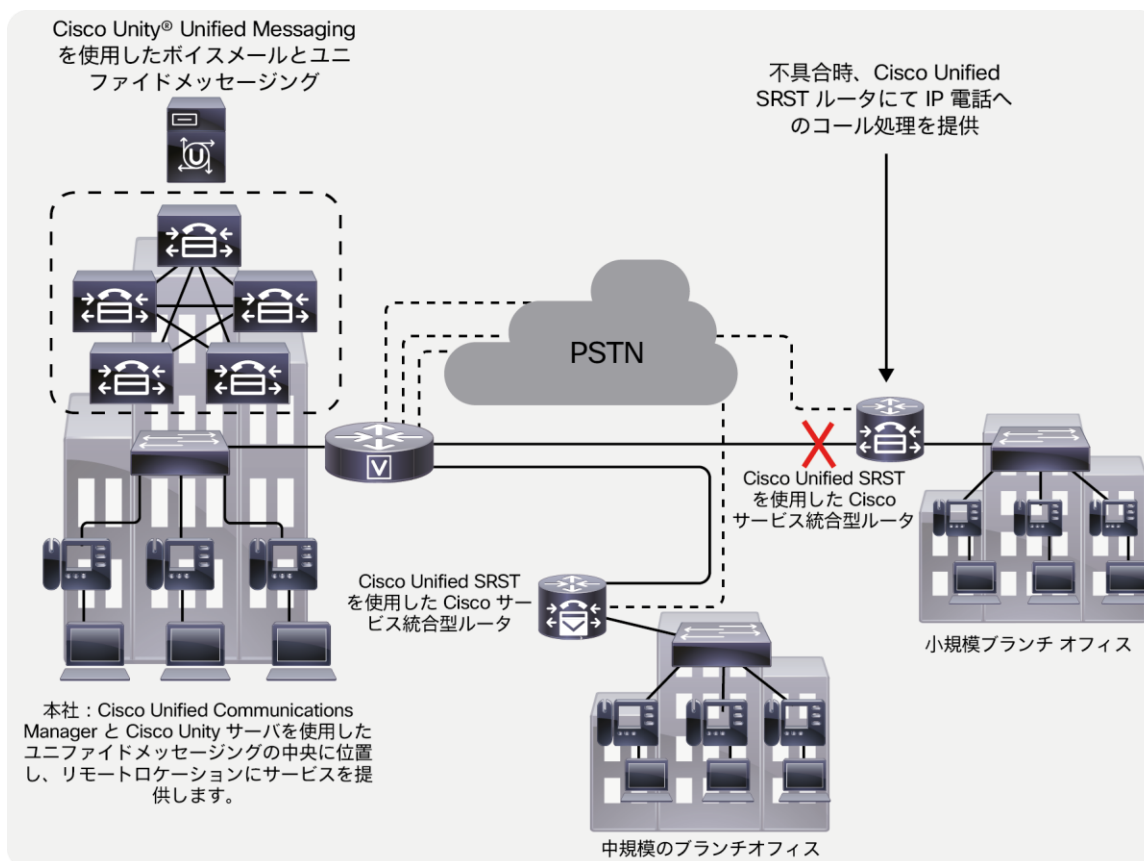
さらに、特定の環境では、テレフォニー通信のセキュリティが重要な要件となります。このソリューションは、ネットワーク上の任意の 2 台の電話機の間で、それらの電話機が本社施設にあっても、遠隔地にあっても、セキュアテレフォニー通信をサポートします。Cisco Unified SRST は、遠隔地の拠点が中央の Cisco Unified Communications Manager との通信を失った場合でも、同じセキュアなテレフォニープロトコルをサポートすることで、このセキュアテレフォニー通信ソリューションに寄与しています。

## Cisco HCS および UCMC を導入した Cisco Unified SRST

Cisco HCS または Cisco UCMC を採用した Cisco Powered Cloud Collaboration Service の展開も、集中型コールプロセッシング アーキテクチャの一種です。これらのソリューションでは、Cisco Unified Communications Manager をベースに、安全でスケーラブルなクラウドサービス向けに業界をリードするコラボレーション技術を提供しています。UCM をクラウドで利用することで、企業のすべての拠点がリモートオフィスようになります。Cisco Powered Cloud Service から企業への通信に障害が発生した場合、Cisco Unified SRST がテレフォニー バックアップ サービスを提供し、ビジネスの中断を防ぎます。

## Cisco Unified SRST の仕組み

シスコは、Cisco IOS XE ルータプラットフォーム（一覧は表 2 を参照）向けに Cisco Unified SRST テクノロジーを開発し、WAN 障害時に IP 電話のコール処理を行うブランチ ネットワーキング インテリジェンスを実現しました（図 1）。



---

図 1

WAN 障害が発生している遠隔地の拠点での集中型の Cisco Unified Communications Manager の導入と、Cisco Unified SRST を搭載した Cisco Router

Cisco Unified SRST は遠隔地に設置されたルータで機能し、ネットワークの障害を自動的に検知して、その障害の起きた場所にある IP 電話にコール処理のバックアップの冗長性を提供するプロセスを開始することで、テレフォニー機能の運用を確実にします。WAN 接続が回復すると、システムはインテリジェントかつ自動的にコール処理をプライマリ Cisco Unified Communications Manager クラスタに戻します。Cisco Unified SRST は、最初のインストール時に 1 度設定するだけで済むため、導入、管理、メンテナンスが簡単です。リモートサイトで Cisco Unified SRST を管理するための IT スタッフは必要ありません。

シスコのルータは、Cisco Unified SRST によるセキュアなボイスモードも提供しています。セントラルサイトの Cisco Unified Communications Manager でセキュアな音声を展開している場合、Cisco Unified SRST では、Transport Layer Security (TLS) と Secure Real-Time Transport Protocol (SRTP) によるシグナリングとメディアの暗号化により、障害発生時にも通話の安全性を確保できます。WAN リンクまたは Cisco Unified Communications Manager サービスが復旧すると、Cisco Unified Communications Manager は透過的に安全なコール処理を再開します。

Cisco Unified SRST は、Cisco IP 電話の Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Client Control Protocol (SCCP) をサポートしており、Cisco Unified Communications Manager が利用できなくなった場合でも、必要なテレフォニー機能の提供を行います。Cisco Unified SRST ルータは、SIP フォンをサポートするために SIP レジストラサービスを使用し、SCCP フォンを登録するために独自の SCCP を使用しています。Cisco Unified SRST では、Simple Network Management Protocol (SNMP) を用いた Cisco SRST MIB による障害監視機能があり、既存の SNMP ツールや Cisco Prime 製品を使って Cisco Unified SRST サイトをリモートで監視することができます。Cisco SRST MIB は、Cisco Unified SRST の使用期間、登録された IP 電話または登録の失敗、SRST モード中に処理されたコールなど、Cisco Unified SRST のアクティビティに関する詳細をネットワークオペレーションセンターに提供します。

SRST モードでは、Cisco ルータの音声インターフェイス/回路 (Cisco Unified Border Element の設置場所では SIP トランク) を PSTN への代替ルートとして使用することができます。この PSTN 接続は、Cisco Unified Communications Manager (UCM) クラスタの他の部分からのコールの送受信にも使用できます。(UCM は、コール転送機能を使用して、WAN 障害が発生した場合に PSTN を介してコールを SRST サイトにルーティングできます)。

## サポートされる機能

従来のテレフォニーソリューションとは異なり、Cisco Unified SRST と Unified E-SRST は、WAN の障害が発生している間、多くの IP 電話の機能を確実にサポートします。サポートされている機能の一覧は、[『SRST プロトコル互換性マトリックス』](#)に記載されています。

## ルータプラットフォームのサポート

CUBE は、Cisco IOS XE ソフトウェアのコンポーネントとして開発され、表 1 に示すプラットフォーム上で動作します。SRST の機能一式は、IOS XE 17.2.1 から自律モードとコントローラ (SD-WAN) モードの両方で使用できます。

**表 1** SRST プラットフォームのサポート

ルータプラットフォーム	最大 IP 電話数	最大電話回線数	プラットフォームライセンス
Cisco 1100 ISR**	50	200	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4321 ISR	50	200	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4331 ISR	100	400	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4351 ISR	700	1000	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4431 ISR	1200	1800	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4451-X ISR	2000	3500	Unified Communications + セキュリティ*
Cisco 4461 ISR	2000	3500	Unified Communications + セキュリティ*
C8200L-1N-4T	1500	2500	Cisco DNA Advantage
C8200-1N-4T	2500	3500	Cisco DNA Advantage
C8300-1N1S-6T	2500	3500	Cisco DNA Advantage
C8300-1N1S-4G2X	2500	3500	Cisco DNA Advantage
C8300-2N2S-6T	2500	3500	Cisco DNA Advantage
C8300-2N2S-4T2X	2500	3500	Cisco DNA Advantage

\* セキュアな SRST または暗号化されたトランクに必要なセキュリティライセンス。

\*\* IOS XE 17.5.1 以降

注： Cisco SRST は、プラットフォームごとに記載されている最大数までの SIP デバイスと SCCP デバイスの混在をサポートします。

## IP 電話 サポート

SRST は、シスコの IP 電話やデバイスを包括的にサポートしています。Cisco SRST の各リリースでサポートされている製品の詳細なリストは、次のサイトでご覧いただけます。<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-survivable-remote-site-telephony/products-device-support-tables-list.html>

## ライセンス

Cisco SRST は、オンプレミスの通話ライセンスに権利が含まれる Cisco Collaboration Flex サブスクリプションの一部として購入することができます。現在のライセンスはスマート対応で、ライセンスのプーリングやポータビリティ、所有者や使用者の可視性の向上などのメリットがあります。

スマートエンタイトルメントはあらゆるデバイス間で完全に移動可能です。スタンドアロンの永久ライセンスはバージョン管理され、アップグレードには Cisco Software Support サービス (SWSS) が必要になります。オンプレミス通話の Flex サブスクリプションで提供される権利は、期間限定で、レポートも含まれます。また、Cisco SRST のどのバージョンでも利用できます。



Cisco SRST バージョン 12.5 (Cisco IOS XE リリース 16.10.1a) から、書面による Right-To-Use (RTU) ライセンスがサポートされなくなり、スマートエンタイトルメントが必要となりました。このリリースから、プラットフォームを継続して使用するためには、Cisco Smart Software Management (CSSM) のアカウントを登録する必要があります。スマートライセンスに関する詳細は、<https://www.cisco.com/go/smartlicensing> をご覧ください。

**注：** SRST 権利が選択され、指定のスマート アカウントに正しい数量が配信されることを確実にするため、Collaboration Flex Plan サブスクリプションを変更する必要がある場合があります。Cisco SRST ライセンスの選んだ場合や、この目的のためにサブスクリプションを変更した場合の追加料金はありません。詳細については、Flex Plan の資料を参照してください。

## シスコの環境維持への取り組み

Cisco 製品、ソリューション、運用、拡張運用またはサプライチェーンに関する環境持続性ポリシーおよび取り組みに関する情報は、「[2021 年度 Cisco 目的レポート](#)」に記載されています。

表 2 に、環境持続性に関する主要なトピックに関する情報への参照リンク。

表 2 環境保全

持続性に関するトピック	参照先
製品の材料に関する法律および規制に関する情報	<a href="#">材料</a>
製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	<a href="#">WEEE 適合性</a>

シスコでは、パッケージデータを情報共有目的でのみ提供しています。これらの情報は最新の法規制を反映していない可能性があります。シスコは、情報が完全、正確、または最新のものであることを表明、保証、または確約しません。これらの情報は予告なしに変更されることがあります。

## Cisco Capital

### 目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital ファイナンスでは、お客様が目標の達成、ビジネス変革の実現、競争力の維持に合ったテクノロジーを簡単に導入できるよう支援します。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。シスコの柔軟な支払いソリューションは 100 か国以上で利用可能であり、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、およびサードパーティ製の補完的な機器を、利用しやすい計画的な支払方法で購入できます。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

## 要約

Cisco Unified SRST は、リモート ブランチ オフィスで冗長性を備えた中央集中型のコール処理アーキテクチャを活用したいお客様に、シンプルでコスト効果の高いソリューションを提供します。

---

## 詳細情報

Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) の詳細については、<https://www.cisco.com/go/srst> を参照するか、最寄りのシスコのアカウント担当者にお問い合わせください。

## マニュアルの変更履歴

新規トピックまたは改訂されたトピック	説明	日付
Catalyst Edge 8200L ルータおよび Cisco 目的レポートに関する情報を追加		2022 年 1 月
Catalyst Edge 8200 ルータに関連する情報を追加		2021 年 1 月
Catalyst Edge ルータプラットフォームに関連する情報を追加。		2020 年 11 月
SRST バージョン 14 (IOS XE 17.3.1) のコンテンツをすべて更新		2020 年 7 月

### シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。  
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

#### お問い合わせ先

お電話での問い合わせ  
平日 10:00 - 17:00  
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム  
[cisco.com/jp/go/vdc\\_callback](https://cisco.com/jp/go/vdc_callback)

